

(令和4) 年度 児童館事業年間活動報告書

(京都市錦林) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										合計	内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア						
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
基 本 活 動	(2) こま検定	12		66		5								71	毎月開催。技のレベルアップを目指して練習に励む。	検定をきっかけに日々の遊びの中で発展させていき、自信をつけていく状況が見られた。
	(2) けん玉検定	12		2	44		4	1						51	毎月開催。技のレベルアップを目指して練習に励む。	技を磨き、発表につながる取り組みになっている。自由来館の参加に繋げることが課題。
	(2) 切り絵検定	16		2	80		18	1						101	カッターナイフをうまく使い、じっくり取り組む機会。	大人数が過ごす場で、安全に落ち着いて取り組むために、時間と場所の工夫が必要。
	(2) 手づくり教室	11	10	62	228	17	58	3	8					386	毎月実施。手づくり遊びを設定。	子どもスタッフが運営に参画し、「みんなをどう楽しませるか」という視点が生まれる。
	(2) 日本習字展に応募しよう	1		15	13	6	2	1	1					38	学童クラブOBの保護者による書写教室。	例年、企画運営してくださるスタッフも数名参加されるが、感染対策の為スタッフは参加されず職員が行う。
	(2・6) ちっちゃな先生活動・乳幼児活動サポート参加	9			17									17	長期休暇中も継続実施している乳幼児親子活動のサポーターとして活動する小学生の登録会と活動。	学童クラブ児童数が多い中で、丁寧な乳幼児親子への関わりの機会を生み出すことに、スタッフの多くの配慮が必要。
	(3) 避難訓練・交通安全指導	3		9	210	1	45					1		266	(参加型) 避難訓練(地震時・火災時)、交通安全教室、交通安全指導	消防署の協力を得て実施する実地訓練と、警察署の協力を得て行う交通安全の指導。不審者対応のスタッフ訓練も実施した。
	(3) 水鉄砲であそぼう	1		4	17	1	3				2	3		30	かき氷をみんなで食べる恒例の企画が感染対策で中止にし、代わりに企画を行う。	子どもたちと共になにができることを考え、中高生や大学生スタッフの協力のもと、子どもたちがやりたいことを取り組むことができた。
	(3) 児童館まつり・準備活動	34	34	84	98	39	54	29	80	11	17	27		473	夏休みから子どもが企画運営するお店屋さんの準備を始める。小学校の体育館と中庭を借りて、地域団体の応援をいただいて運営する駄菓子や学童クラブ保護者会と共催で遊びのコーナー、親子でお店屋さん、6年生・中高生コーナー等おまつりを開催。感染対策の為、駄菓子の飲食はなし。	普段の活動では参加機会の少ない父親や祖父母も、子どもたちの様子を見に来場。大学生ボランティアの折紙コーナーや、将棋クラブスタッフの地域の方が将棋初心者コーナーを運営して下さるなど、地域交流の場ともなる。感染対策をしながらの開催ができた。
	(3) キックベース、ドッジ交流、練習	12		48	159	5	30	2						244	近隣の児童館との交流のための企画を行い、練習も実施する。	感染症の対応からキックベースの交流会は実現できず、館内での交流にとどまる。ドッジボール交流会は3年ぶりに白川児童館と交流試合をすることができた。
	(3) クリスマス会	1	1	46	30	16	7		4			5		109	季節の取組として、職員やボランティアの大人と運営するクリスマス会。	学生スタッフと共に行事を作り出す機会となった。
	(3) おおそうじ	1		2	59	1	18	1						81	年末の一日、自分たちの遊び空間を自ら管理する意識を高める。	児童館がみんなのものであることを再認識する機会となっているのではないかと思われる。
	(3) こどもこども会・練習	2	11	41	31	12	4		27					126	普段の遊びをコーナー展開。地域の方をお招きし、子ども達と一緒に遊びに参加。ミニステージとして、うたっこ、こま、演奏披露の場を設定する。	地域の方やお家の方が、普段の児童館での遊びに参加して下さった。ミニステージとして、うたっこ、こま、ウクレレ、ピアノの演奏披露を見ることができた。
	(4) ダンスクラブ	60		13	351	36	109	4	1	71				585	文教高校ダンス部の高校生有志の協力のもと運営。	高校生の参画を得ること、感染対策の両立に気を配る。発表の機会も得ることもできた。
	(4) うたっこクラブ	24		31	350	15	44							440	仲間と一緒に歌う喜びを体験する活動。課題曲はクラブ員が選曲。	感染症対策から、ハンドベルを取り入れて実施。
	(4) うんどうクラブ	11		21	61	22	18					3		125	体を動かす楽しさを知ってもらう事を目的としている。当日も高学年スタッフが運営。危険のないように、担当職員が見守っている。	日常の遊びの中でトラブルが多い児童も、クラブという形の中で葛藤しながらも活動する様子があった。
	(4) 紙野球クラブ	12		14	84	4	38	1				8		149	紙を丸めた手作りボールとプラスチックのバットで、異年齢の児童が野球に親しむ。高学年スタッフが低学年をリードする。	野球に興味があっても少年野球には入れない子ども達も身近に野球を楽しむ機会となっている。
	(4) サッカークラブ	19	1	176	50	66	14		4		28	18		357	学童クラブ保護者のお父さん達と学生スタッフによる運営。サッカーだけを楽しむのではなく、思いっきり体を動かす事を楽しんでいる。	小学校校庭開放委員会に出席し、運動場の利用について調整。地域他団体との協力と共存を大切にしている。
	(4) おりがみクラブ	6		18	20	4	4					18		64	学生ボランティアグループによる隔月1回の企画運営。登録クラブ員以外に参加希望の児童がいた場合は飛び入り参加ができる。	子ども達は毎月実施を希望している。
	(4) ビーズクラブ	19		21	85		18							124	継続的にビーズの作品作りを行う。メンバーの活動とオープン教室も実施。	継続的な楽しみの活動として発展している。
	(4) 竹馬ダンスクラブ	14			115		56							171	音楽に合わせて、子どもたち自身が創作したダンスを踊る。	寒い時期は実施できないが、子ども達が主体的に取り組む。
	(4) 編みっこクラブ	8		1	6	14	14						3	38	地域住民ボランティアが企画運営。	じっくり取り組める場となっている。地域住民との関係づくりも進んでいる。
	(5) だがしデー	10	41	168	302	96	91	31	17				24	770	地域の民生児童協議会の皆さんが店員となって実施するだがし企画。	感染対策と両立するための相談をしながら、飲食の方法など、工夫して実施した。
	(6・7) 中高生と赤ちゃん交流(あそびの広場がらす)振り返り	8			1	1	12			15	4			33	「乳幼児親子のためのクリスマス会」を中高生と共に企画。	日常に利用のある中高生と相談しながら企画運営を行った。
	(6・3) 高学年イベント・打合せ	10			71	70				26	18			185	中高生・大学生スタッフが会議を行い、高学年が楽しめるプログラムを考える。	コロナ禍でもできることを一緒に考え実施することができた。
	(6・3) 6年生イベント・打合せ	11		7	49	78	28							162	6年生が集まって相談し、卒業企画を企画、運営する。	低学年が楽しめる企画を考えて実施。自分たちも楽しみ、周囲も楽しい企画を作る面白さを共有する。
(7) スタディールーム	48			8	7	231			1	157			404	中高生の居場所作りと、中学生になっても気がかりな子に対して、引き続き見守り、繋がる機会を作る。	LINEを活用することで、日頃からいろいろなり取りを行うことができてきている。	
合 計			98	785	2525	513	760	317	142	126	261	73	5600			

推 進 活 動	(9) サンタプロジェクト	2			13				6					19	普段お世話になっている地域の方にプレゼントを渡す。 サンタになり、配達、得意な事を披露する。	みなさんとても喜んでくださった。得意技の披露ではたくさん褒めてくださり、子ども達もとても喜んでいました。
	(9) ひまわりの絆プロジェクト	1	7						6	7				20	黒谷交番、金、白河総合支援学校と連携した交通安全の取り組み。 乳幼児親子と白河支援学校の学生と一緒に、ひまわりの種植えをする。	学生さんと一緒に種植えを行った。ひまわりの絆プロジェクトについて知ってもらい、交通安全の意識を持ってもらう機会となった。
	(9) OKAZARI PARK STAGE参加・リハーサル	1	6	3	32	6	9	1	54					111	岡崎いきいき市民活動センターの協力により、地域のステージに参加。	岡崎学区特有の企画に参加する。 コロナ禍で発表の機会が失われていた為、良い機会となった。
	(9) 岡崎わいわい文化祭参加	1	10	18	4	8	1		29					70	岡崎自治連合会主催のお祭りに児童館の子どもの遊び発表をご案内いただく。こま・けん玉・ダンスの発表をする。	日頃の遊びの成果の発表であり、子ども達の張り切る姿を地域の皆さん方に楽しんでいただく。
	合 計		23	21	49	14	10	7	96	0	0	0		220		
子ども育成機能 合 計																

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和4) 年度 児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書 (京 都 市 錦 林) 児 童 館

	活動名	実施回数	参 加 人 数										内 容	成 果 と 課 題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア		合計			
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人				
基 本 活 動	(1) ①乳幼児クラブ														
	プレ乳幼児クラブ	5	48								49		97	安心して参加できる入口として設定する。 見通しが持てない親子の体験入門として大切にしていきたい。	
	よちよちクラブ	32	177					15			183		375	(クラブ型) 0・1歳。月3回、手遊び・体操・季節のイベント・みんなで遊ぶ取組を行った。 母親同士も仲良くアットホームな雰囲気で行うことができた。専門機関との連携による子育てに悩む保護者への支援に繋ぐケースも生じた。	
	てくてく・りんりん合同クラブ	30	161	1				24			170		356	(クラブ型) りんりん、てくてく合同での取り組み 乳幼児の利用のうち、2歳以上より0歳児の利用が増えており、クラブのあり方も検討が必要になってきている。	
	(1) ②乳幼児広場														
	きんりん0歳児教室	10	50								48		98	(講座教室型) 同年齢の子どもを持つ親子の連続講座。 離乳食講座や絵本講座など、プログラムを設定して進行。	
	はなまる広場@きんりん	11	57								64		121	子どもはぐくみ室・つどいの広場・児童館学童連盟の協力を得て、毎月1回の子育ての学びの場として開催。 保育所、はぐくみ室との連携のあり方を再度調整をする。近隣の保育園との連携も考えていく必要がある。	
	ママヨガ	11	66								66		140	(講座教室型) 子育て中の保護者がリフレッシュし、参加者同士がつながるきっかけとなるように意識して実施。 毎回好評で、利用児童保護者のボランティア講師と民生委員の協力を待っている。	
	ベビーマッサージ	11	68								69		137	(講座教室型) 毎月第2金曜日に助産師がベビーマッサージを指導。 0歳児向けの取組なので、今後も児童館の入り口として取組んでいきたい。	
	赤ちゃんサロン	17	68								70		138	(広場型) 妊婦から1歳半の親子対象に子育ての話をふれあい遊び。 児童館の入口的取り組みとして位置付け。ゆるやかな雰囲気的大事に、新規利用者がいればスタッフが間にはいる。	
	遊びの広場	10	53								46		99	(広場型) 月1回、簡単な工作や遊びを行う。(予約不要) 中高生企画の取組等、児童館らしい工夫を凝らした取組も生まれた。	
	ぶらっとサロン	12	66								64		130	(広場型) 自由に気軽に遊びに立ち寄る場。始まり又はお昼前に、手遊び・読み聞かせの時間を短時間設定する。 子育て仲間との出会いや、短い時間のプログラムがある事を楽しみに利用を重ねる親子が増えてきた。	
	(2) 家族参加を促す														
	遊びの広場ぶらす (中高生と赤ちゃん交流)	1	3							3	5		11	「乳幼児親子のためのクリスマス会」を中高生と共に企画 日ごろ関わりのある中高生との活動は、児童館側としても中高生とのやり取りがスムーズであった。また乳幼児親子との関係性の面でも近隣の中高生というのは地域の中のお兄さん、お姉さんという面を活かすことができるように感じた。	
	白河総合支援学校協働活動	6							17		58		75	白河総合支援学校との協働によるパン販売や、収穫体験などの企画を行う。 白河総合支援学校との協働作業の機会提供と同時に、中高生の自立支援、児童館を利用する様々な年代の人とのふれあいを大切にする。	
合 計		817	1				56	890	5	8	1777				
援 活 動	(3) 子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数
		乳児 幼児 小1～3年 (自由来館) 小1～3年 (学童) 小4～6年 (自由来館) 小4～6年 (学童) 中学生 高校生		児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター } はぐくみ室 主任児童委員 その他 ファミリーサポート }					健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 育児不安 虐待 }				児童相談所 保健所 子ども支援センター } はぐくみ室 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その { 放課後デイサービス つどいの広場 他の児童館 }		
		件数 計	0	-				0	-			0	-		0
(4) 子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題					
	まっつサロン (岡崎民生協議会)	10	主任児童委員を中心とする岡崎地域の子育てサロン				場の提供と共にサロン運営メンバーと共に職員がサポートスタッフとして1～2名参加。			赤ちゃん家庭へのポスティングなど、地域の乳幼児家庭への直接的情報提供に児童館の情報も取り入れていただいている。					
推 進 活 動	(5) 子育てと健全育成に関 する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題							
		子育て講座【歯のお話会】	1 回	子どもの歯科衛生について学びたいとの要望に応え、はぐくみ室の保健師さんの協力を得る。				保護者の関心も高く、事前アンケートに基づいた保健師からのアドバイスを受ける。							
		0歳児教室+子育て講座【絵本】	1 回	地域の児童書専門店の方を講師に迎えて絵本の楽しみや子育てのヒントを学び気づく機会とする。。				具体的に絵本を通して学び、保護者が子育ての悩みごとを気軽に話し合える場となった。							
		きんりんお話し会 (錦林保育園連携)	1 回	「ちょっと気軽に相談できる場」としてお話し会の実施。事前にアンケートを実施し、質問内容を保育士さんに答えていただく。				育休中の方は手続きのタイミングや園での具体的な生活について、その他の方も普段の生活面での悩みや疑問など、保育園の先生とお話できたことで、一定の解決を得ることができた。							
		交通安全教室	1 回	警察署員の協力により、乳幼児親子の交通安全啓発活動を行う。				身近なところに危険が潜んでいる事への気づきが生れる機会となった。							
		AED体験研修 (てくりんクラブ+)	1 回	錦林校区の三つの消防分団の協力のもとに左京消防署員による乳児・幼児のAED実技指導と救命救急の話。今年度は、聖護院分団の方から、地域防災活動の紹介、AEDの設置場所案内、実技指導のサポートをしていただいた。				参加された方の中には意識を高く持って参加されていた方もいた。消防隊員の方も、自らの子どものこと等、実体験を交えてお話して下さったのも良かった。							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域福祉	基本	活動	活動名	実施回数	主催	参加人数						連携団体	成果と課題		
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生			大人	合計
							自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ					
(1)地域住民との交流を促進する活動	将棋クラブ	24	児童館	82	23	124	5	48		24	224	民生協議会・岡崎福祉会・将棋愛好会等	住民スタッフのサポート継続		
	まめっこサロン	10	岡崎民生協議会・岡崎社会福祉協議会	82						150	232	岡崎自治連合会・児童館	協力協働の関係の深まり		
	高校生活動【お誕生カード】	32	児童館					46		15	61	白河総合支援学校情報印刷専攻	お誕生カードのやり取りからのつながりづくり		
	おもてなしプロジェクト 交流	10	児童館			49		4		16	69	聖護院学区社会福祉協議会	サンクになって、他府の方や民生委員さんのお宅を訪問。		
	合計		—	82	23	173	5	52	46	205	586				
(2)ボランティア活動の推進	活動内容			活動人数					成果と課題						
	大学生・大人ボランティアガイダンス・活動ふり返り			13	20						20		ニーズに沿ったボランティアの発掘と連絡調整及び活動支援。		
	中高生ボランティアガイダンス・活動ふり返り			13							13		ニーズに沿ったボランティアの発掘と連絡調整及び活動支援。		
	子どもクラブ(サッカー、ダンス、将棋、おりがみ、紙野球)			4	20		5				29		活動の定着と継続。		
	活動打ち合わせと振り返り										12		活動の定着と継続。		
	スタディールーム大学生スタッフ活動打ち合わせと振り返り				12						8	4	12	活動の定着と継続。主力メンバーの卒業に伴う新たなスタッフ募集の取組の必要。	
	統合育成スタッフミーティング			39	33								72	活動の定着と継続、発展。	
中高生・大学生企画活動打ち合わせと振り返り			56	93		9	158								
(3)地域との連携を促進する活動	連携団体等	連携内容				成果と課題									
	錦林小学校	利用児童(学童クラブ・自由来館)・家庭への支援に係る情報共有と相談				子ども家庭への支援に繋がる連携を児童館側から強く働きかける必要がある。									
	白河総合支援学校	協働事業振り返り				協働事業についての目的共有と意見交換の場を継続して持つことを維持。オンライン会議を活用する。									
	公立保育所拠点担当・左京はぐくみ室	聖護院・岡崎地域のサロン活動支援、南部親子スマイルひろば、子育てワークショップ、養正保育所はなまる教室				子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まる一方で、拠点保育所やはぐくみ室の連携について再考が必要となった。									
	錦林ネットワーク会議(小学校・保育園・幼稚園・主任児童委員・左京はぐくみ室・市民活動センター)	構成団体同士で子ども家庭支援のための情報交換・共有を行う。個別支援に係る情報交換会も実施				多くの構成メンバーがあるため、日程調整などに加え、感染症対策の調整も必要となった。									
	岡崎自治連合会	地域の皆さんに児童館と子ども達の様子を知っていただく。				日常の遊びが子ども達の成長の力となっている姿を見ていただき、地域の方々から暖かい評価と励ましをいただく。子ども達は、普段の遊びの展開が地域の多世代に喜んでいただき評価いただく経験を通して、大きな喜びを感じている。									
	岡崎民生協議会・主任児童委員・岡崎社会福祉協議会	まめっこサロン・乳幼児親子支援活動チラシポスティング・将棋クラブ・サンタプロジェクト・駄菓子デー・子ども子ども会・きりん児童館まつり				子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。									
	聖護院民生協議会・主任児童委員・聖護院社会福祉協議会	親子ヨガ・乳幼児親子支援活動チラシポスティング・将棋クラブ・駄菓子デー・子ども子ども会・きりん児童館まつり				子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。									
	川東民生協議会・主任児童委員	将棋クラブ・きりん児童館祭り・サンタプロジェクト・子ども子ども会・駄菓子デー				子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。									
	吉田主任児童委員	乳幼児親子支援活動チラシポスティング				子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。									
消防分団(岡崎・聖護院・川東)	きりん児童館祭り・乳幼児親子AED体験研修				子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。										
京都市左京南地域包括支援センター	出張おもてなしプロジェクト				4つの元学区の地域高齢者と子どもの出会いと交流の場を計画したが、感染症対策で断念する。										
吉田主任児童委員	乳幼児親子支援活動チラシポスティング				子ども家庭への支援に繋がる連携関係が深まった。										

基本活動	(4)児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題	
		錦林児童館運営協力会議		岡崎・川東・聖護院主任児童委員, 岡崎・川東・聖護院消防分団		主任児童委員: ネットワーク会議終了後(年3回) 消防分団: 8月・1月(年2回)	児童館活動への地域の意見反映	毎年、児童館の日常活動やイベント、地域団体の取組活動などを通して、協力連携の関係作りが積み重ねられている事を確認している。感染症対策から会議を持ちにくく、個別の情報交換などを密に行う。	
地域福祉	(5)地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先(団体・機関等)	成果と課題		
		会場提供・備品貸出(ラミネート機械・クリスマスツリー・キーボード・楽器・CDデッキ・湯沸しポット)		まめっこ(子育てサロン)の取組		岡崎民生委員	民生委員の方たちと交流できる機会。子育て経験のある民生委員の方たちは利用される乳幼児親子に対して安心感を与える声かけをされている。参加者の以降の児童館利用につながるケース多い		
社 促 進 活 動 機 能	(6)地域調査活動	調査名		調査目的		調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
		乳・幼児クラブ・プレ乳幼児クラブアンケート		利用者がクラブ活動に求めるものを知る。		乳児・幼児クラブ	児童館	アンケート用紙	参加する楽しさと子育て当事者同士の出会いが保護者にとって重要なことを確認。白河総合支援学校との協働の取り組みでは、相互に振り返りと意見の交換ができた。
		子育て講座アンケート		ニーズと取組の成果を知る		講座参加者	児童館	アンケート用紙	講座の前に困りごとのアンケート調査を実施することで講座内容が参加者ニーズに繋がった。
		0歳児教室について		ニーズと取組の成果を知る		参加者	児童館	アンケート用紙	参加する楽しさと子育て当事者同士の出会いが保護者にとって重要なことを確認。
		学童クラブアンケート		活動の項目別について①困った点と改善点, ②保護者懇談会について③あつて欲しいイベント等を知る。		学童クラブ登録家庭	児童館	アンケート用紙	感謝の気持ちを述べてくださる意見とともに、保護者懇談会の持ち方についての意見を調査した。また、親子交流活動についての希望や、コロナ禍での運営に対する意見などがわかった。
		学童クラブ子どもアンケート		子どもの思いを探る		学童クラブ登録児童	児童館	書込み表の掲示。口頭での伝達。	日常生活や取組み(こどもこども会演目・祭り遊びコーナー種類・高学年イベント・3年生イベント・進級お祝い会・新入生を迎える会・クリスマスプレゼント)など、子どもたちの素直な気持ちを知り、活動に反映させることが出来た。
		ボランティア活動ふりかえり		ボランティア育成とコーディネート		日々のボランティア全員	児童館	ふりかえりシート	職員が気づかないところでの出来事や見落とししていた点に気付かされることが多く、活動の見直しにも役立っている。
		中高生活動参加者アンケート		ニーズと取組の成果を知		利用者	児童館	ふりかえり会での聞き取り等	活動への感想と参加したことの楽しさと困りごとについて率直に聞き取ることが出来た。

(令和4) 年度

児童館事業年間活動報告書

(京都市錦林) 児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	児童館だより	月1回	小学校(全校配布)、錦林ネットワーク関係団体、中学校、子どもはぐくみ室、左京・東山区各児童館、学童保育所	配布、掲示、配架	児童館での活動、行事等のお知らせ	毎月児童館のことを伝える良い手立てとなっている。見やすい紙面の充実と、出来るだけ早い発行を実現したい。
	ミニだより	月1回	保育園、幼稚園、はぐくみ室、乳幼児親子	配布、児童館に置いておく、主任児童委員によるポスティング	乳幼児対象の取組のお知らせ	乳幼児親子向けの詳細を記載し、わかりやすい内容にする。早期に予定をたて、安定した広報を心がける。
	児童館・学童クラブパンフレット	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	事業活動紹介	業者に印刷を依頼し、パンフレットを作成。事業活動の変更時の原稿のスムーズな差替え。
	乳幼児親子向け活動チラシ	年3回	利用者	配布	参加希望者への案内	0歳児教室、子育て講座、各種イベントの広報を行う。
	乳幼児クラブおたより	隔月	登録制乳幼児クラブ親子	配布	登録制乳幼児クラブの予定、お知らせ	誌面充実力を注ぐ。
	乳幼児クラブ案内チラシ	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく、主任児童委員によるポスティング	活動案内	希望者にはいつでもわかりやすくお伝えできる情報の整理。
	乳幼児クラブ募集要項	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	乳幼児クラブ要項	希望者にはいつでもわかりやすくお伝えできる情報の整理。
	児童館の取組活動案内チラシ	活動毎	利用者	配布、児童館に置いておく	参加希望者への案内	年間を通して児童館全体の各種取組活動
	こどものクラブ案内チラシ、募集要項	年1回	利用者	配布、児童館に置いておく	ダンス、紙野球、運動、竹馬、編みっこ、うたっこ、ビーズ、将棋クラブの案内と募集の流れ	参加希望者が多くあり、クラブ運営が困難なクラブも発生する為、募集方法についての工夫が必要。
	児童館からのお知らせ	年1回	小学校(全校配布)	配布	緊急時の児童館利用について	感染症流行や自然災害時の、児童館の基本対応を自由来館保護者に確認していただくことができる。
	自由来館利用案内	年1回	学童クラブ以外の小学生	小学校内クラス配布	自由来館利用の小学生の保護者連絡等を提出していただく。	自由来館児童の安全にかかる確認をとる事ができる。
	小っちゃな先生説明書、登録カード	年1回	希望児童	説明会の際に配布	乳幼児とのかかわり方について。	小学生が出来る事と守って欲しい事を、わかりやすく伝える。
	ボランティア募集チラシ	年1回	大学学生課、ボランティアセンター	配布、ボランティアが知り合いに手渡す	ボランティア募集のお願い、活動案内	感染症対応があるため、積極的広報を実施しづらかった。
	介助ボランティア募集チラシ	年1回	近隣の大学の学生課及びボランティアセンター	配布、ボランティアが知り合いに手渡す、LINEで情報提供	ボランティア募集のお願い、活動案内	既に活動をしている学生から、大学内の情報ツールを活用して広報してもらった。多くの介助者獲得につながった。
ホームページ	毎月	利用者、市民	ホームページの更新	月間行事案内、おたよりの掲載	更新日に気をつけ、ページの充実力を注ぐ。	

(令和4) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京 都 市 錦 林) 児 童 館

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援助 機能	安全・衛生の確保	帰館時の手洗い、うがいの声かけ。昼食・おやつ前の手洗い、消毒の徹底	昨年度同様、新年度当初は多くの児童が行っている様子が見られるが、年度の半ばになってくると声かけをしないとやらない児童が増える。繰り返し全体の場などで手洗い・うがいの仕方や必要性を児童に話していく必要がある。
		集団帰宅のグループ化	小学校が始まってからの1週間は、5時で帰る児童に関して職員が付き添ったのでまとまって帰っていたが、職員が付き添う期間が過ぎると走って帰ったり、まとまって帰ることが難しい班もあった。注意やサポートが必要な班には職員が同行をした。
		机の片づけ方、はさみの使い方など、怪我をする恐れのあるものについて取扱いに注意する	年度の初めに物の使い方を徹底するが、しばらくすると間違った使い方をする児童が増えてきた。はさみは貸出制にして、子どもたち自身が管理を意識するように促す。
	健康の管理・情緒の安定	アレルギー児についてアレルギー表をもとに代替食を提供する	児童台帳とともに提出してもらっているアレルギー表をもとに、アレルギーのある子どもは代替のものを提供した。
		帰館時、来館時、昼食、おやつ時などに視診をし、子どもの体調を確認する	帰館時に必ず視診をするよう掛けた。体調面については迅速な発見、対応ができていた。職員一人ひとりの意識を高めるとともに、保健対応表への記録、見守りの強化を行った。
		流行性のある病気が流行する時期に、病気を記録して児童館内の子どもの病気の状況を確認する	昨年度と同様に記録していた。特定の時期に限らず、流行性のある病気が発症した場合に記録した。
	基本的 生活習慣の 確立	子どもが安心して過ごせるような雰囲気づくりをする	職員自身が「できないこと」を強調するのではなく、「できたこと」を大事に言葉かけをし、褒めて子ども自身が認められることでの心の充実につなげていきたい。落ち着いて生活できるように部屋の中では静かに過ごすように工夫をした。
		子どもへの指導など、話し合う際には子どもの意見を尊重し、互いに気持ちや言い合い話すことが出来るようにする	話し合いが必要であると判断した場合には、事務室など落ち着いた場で話をするようにした。大きな問題が生じた際には学年ごとに集まって、全体で考えることを実施した。子どもによってはトラブルの際の聞き取り方を工夫することが必要。
		班内の係活動、班ごとの当番活動	高学年の活動はやらされ感や活動の差も強くあったため、自ら活動したことについてポイントを加算し、景品と交換できるポイント制を導入した。3年生も役割を担って、帰りの会で報告していた。班活動の掃除は、掃除が終わるとグループ全員が集まって終わったことを職員に報告したり、一人一人の役割を明確にしたのでしっかりと掃除ができた。
	社会生活技術の獲得	宿題の声かけ	自ら宿題をする児童とそうでない児童の差がある。保護者から声かけの要望がある児童については、引き続き確認や声かけが必要である。個別支援の必要な児童については、宿題カードを作成し目に見える形で成果がわかるように工夫した。
おやつを取組方について		感染症対策と同時に、子ども自身が自分で選ぶというこの両立を目指して工夫をした。学年ごとに時間を分けたり、自分で机を拭くことへの促しなど、楽しみを継続させることについて子ども達とも話し合う。	
あいさつや言葉遣いに関する指導		子どもたち同士の関わり、子どもと職員との関わりの中で出てくる言葉遣いで適切でないものがあつたので、その都度指導をしていった。	
誕生日会		高学年が外で出来るみんな遊びを企画し、進行する。お楽しみおやつの実施と、帰りの会で誕生日カードを渡した。	
子ども も育 成 機能	生活体験の拡大	1年生を迎える会	2～6年生が学童クラブに入る1年生を祝う為に、役割を子ども達が受け持ち、皆で1年生を迎える。新型コロナウイルス感染症拡大予防対応のため、運動場で開催した。
		お弁当いらんデー	例年、自分たちでおにぎりを作って食べていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対応により、お弁当を外注した。
		キックベース大会交流試合	例年、修学院児童館と練習試合をしていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防対応により、錦林児童館の児童のみで行った。
	社会性の養成	子どもグループワークのための打ち合わせ会議	日常の当番活動やお出かけ行事、イベントの実施にあたっては子ども主体の企画運営が進むよう、可能な限りの小集団での準備を心掛けた。
		3年生イベント	学童クラブの3年生が、イベント当日までに話し合い準備を進めていった。お化け屋敷とみんな遊びをした。お化け屋敷は、3年生以外の子ども達もお客さんとして参加。当日は普段はあまり見られない同学年同士の取り組みを楽しむ様子が見られた。
	自立の促進と自主性の尊重	こどもこども会	地域の方をお招きし、普段やっている遊びをコーナー展開し、地域の方や参加した保護者も一緒に楽しんでもらった。ミニステージとして、自分の好きなことや得意なことをみんなの前で発表した。みんなでそれぞれのことを認め合ういい機会となった。
		おでかけ(アクバル宇治)	京都バスを貸し切って、アクバル宇治へおでかけ。グループで事前に話し合い、掲示されているクイズに答えながら、ウォークラリーをした後、アスレチックで遊んだ。
子育て 支援 機能	子育てに必要な情報の提供 と交換	進級お祝い会	子どもの司会など子どもを中心に会を進めていき、6年生ひとり一人からみんなへメッセージの発表を行った。新型コロナウイルス感染症予防のため、運動場で開催した。
		6年生イベント	6年生が低学年のためにみんな遊びを企画運営する。新型コロナウイルス感染症予防対応のため運動場でできることを企画。沢山の6年生スタッフが集まり、ゲームコーナーの運営を行った。当日は、みんなが楽しめるようにスタッフ同士が協力しながら進めてくれた。
		学童クラブだよりの発行	学童クラブに関する連絡事項や子どもの様子などを保護者に伝えるのに非常に有効であった。子どもの様子を伝えるため、写真を印刷していたため子どもの表情も分かり、学童クラブの様子を伝えるのに適当であった。子どもによる子どもニュースは保護者からも好評だった。
	子育ての仲間づくり	写真販売	写真販売を行う。普段見ることができない学童クラブでの子どもたちの様子を保護者を知ってもらいながら、子どもの成長と共に感じられる良い機会となっている。
		保護者との面談(随時)	お迎え時等、保護者の方となるべく話す機会を多くし、子どもに関する何気ないことも共有できることは非常に有効である。
		統合育成個別懇談会、保育園幼稚園との懇談会、小学校との懇談会	課題の見受けられる児童も含め、保護者の求めに応じて個人面談を設定。また、小学校や出身保育園との懇談会など連携を深めることができた。
	子育てを支えるネットワーク 形成	親子交流会(夏のレクリエーション)	保護者企画として、金戒光明寺、真如堂でのウォークラリーを行う。保護者同士で会う機会がなく、企画を通じて保護者同士が交流ができてよかった、との声があった。
		親子交流会(秋のレクリエーション)	児童館まつりの共催で、保護者企画として、飲食の販売はせず、ダーツを企画。企画を通じて役員同士、児童館まつりに参加する他の保護者との交流ができた。
		親子交流会(冬のレクリエーション)	新型コロナウイルス感染症拡大予防対応により、飲食はせず、子どもと役員のみで参加で、運動場でドッジボール交流と部屋を分散し、ビンゴ大会をした。
	子育てを支えるネットワーク 形成	春の保護者懇談会	学童クラブの利用についての確認と、日々の子ども達について共有する。保護者同士のおしゃべりタイムを実施、保護者同士の交流の機会を広げる。
		秋の保護者懇談会	ICT導入のため、「うんぶがくら」の説明会とした。
		冬の保護者懇談会	学童クラブの利用についての確認と、日々の子ども達について共有する。保護者同士のおしゃべりタイムを引き続き実施、保護者同士の交流の機会を広げる。
令和5年度学童クラブ登録説明会		新規登録の方のみに向けて行った。集団下校のグループに分かれてルートを確認。近所に住む保護者同士の交流にもなった。	

(令和4) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(京 都 市 錦 林) 児 童 館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容	
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中学生	大学生	大人				
(1) 朝・帰りの会進行	236	641	406	483	178	73	22	0	0	0	0	0	0	0	1803	子ども達の生活グループ(班)を中心に、土曜日や長期休業中は朝の会を実施し、一日の見通しを持てるように。
(1) おやつ後掃除当番活動	34	202	188	190	113	36	22	0	0	0	0	0	0	0	751	子ども達の生活グループ(班)を中心に、部屋の掃除を分担して実施。
(1) 1年生館内探検	4	42	0	2	0	2	7	0	0	0	0	0	0	0	53	高学年の子どもたちが1年生たちの担当を決めて実施。
(1) 集団帰り安全指導	72	231	115	202	81	43	2	0	0	0	0	0	0	0	674	集団がえり時に安全に帰れるように帰り方を職員がチェック、同行する。
(1) 3年生による運動場見回り	29	0	0	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35	3年生が帰りの会前に運動場の状況をチェックして帰りの会でみんなに報告する。忘れ物、一輪車竹馬の放置がないか確認。
(1) 3年生によるおもちゃ・ビー玉チェック・工作リセット	29	0	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	貸出しているビー玉がそろっているか、3年生が確認し帰りの会で報告する。
(1) 3年生による別館文具・図書整理	70	0	0	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	77	図書室の本を色別に棚に戻す。別館の文具を整頓する。
(1) 高学年の仕事	106	0	0	0	200	40	1	0	0	0	0	0	0	0	241	高学年が帰りの会がスムーズに進行できるように、帰りの会が始まる前にクイズを出したり、机を片付ける等、自ら仕事を見つける。
(2) 誕生日会	6	218	167	195	77	32	13	0	0	0	0	0	0	0	702	スペシャルおやつや誕生日カード、高学年企画のみんな遊びをする。
(2) 誕生日会(みんなあそびスタッフ会議)	6	0	0	0	27	0	2	0	0	0	0	0	0	0	29	高学年が企画し、進行をするための会議。
(2) 誕生日会(みんなあそび)	6	63	33	37	83	9	15	6	2	0	0	0	0	0	248	高学年が企画し、進行をする。
(2) 新入生を迎える会	1	44	31	37	19	7	6	0	0	0	0	0	0	0	144	新一年生を上級生がお迎えする。
(2) 学年集会	4	6	21	38	35	13	8	2	0	0	0	0	0	0	123	学年別に友達との関係、人を傷つけないかわりについて話し合う。
(2) 3年生イベント話し合い	3	0	0	82	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	82	3年生のお楽しみ企画を話し合う。
(2) 3年生イベント	1	0	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	おかけ屋敷とみんな遊び。子ども達が企画し、お客さん楽しんでもらう。
(2) 折り紙教室	2	2	2	5											9	折り紙が得意な子ども達が、先生となって教えてくれる。
(2) 折り紙教室(子どもスタッフ)	2			3											3	折り紙が得意な子ども達が、企画し先生となって教える。
(2) お弁当いらんデー	2	69	55	57	34	9	7								231	感染症感染拡大のため、おにぎり作りはできず、お弁当を注文し食べる。
(2) ドッジボール練習	2	12	8	5	4										29	他館とのドッジボール交流に向けての練習。
(2) みんな遊び	2	5	1	7	8	6									27	みんな遊びをしたい子ども達が集まって、企画、進行する。
(2) だかしデー(子どもスタッフ)	9	0	0	10	38	0	0	0	0	3					51	駄菓子デーの受付やお店番。
(2) 京都教育文化センター 映画鑑賞	1	12	4	4	1										21	地域の施設で無料公演の企画があり、申し込んで参加した。
(2) 夏のレクリエーション	1	21	26	20	15	4	1		1		2			84	保護者会夏レク担当、企画運営実施のウォークラリー。	
(3) 秋のレクリエーション(保護者役員)	1										6			5	11	児童館祭りの中で、保護者会秋レク担当、企画運営実施のダーツ。
(2) 冬のレクリエーション	1	24	19	23	15	1	2							9	93	保護者会冬レク担当企画運営実施のドッジボール、ビンゴ大会。※感染症対策の為、役員と子どものみの参加。
(2) 生き物クラブ	100		100	15											115	生き物好きが集まっての子ども活動。メダカの餌やりなどをする。
(2) 腕相撲大会	1	1	2	4	1	2	1								11	腕相撲が得意な子どもが、企画しトーナメント戦をする。
(2) おでかけ(話し合い)	1	20	20	30	9	3	1								83	遠足のグループごとに、どう楽しむかコースや約束ごとについて相談。
(2) おでかけ	1	22	22	31	9	3	1								88	京都バスを貸し切って、アクトパル宇治へのお出かけ
(3) 小学校PTA主催、りんちゃん祭りへの参加	1	11	7	9	6	1									34	毎年、保護者が活躍されており、大勢が家族参加されている。学童出席児童への参加呼びかけをいただいている。※感染症対策の為、子どものみの参加。
(2) ボール遊び話し合い	1	21						2	2						25	ボール遊びでの、ルール確認や人を傷つけないかわりについて話し合う。
(2) こどもニュース作成	15			6	8	5									19	2か月に1回発行。子ども達が載せたい情報を集め、作成。
(2) 進級お祝い会	1	18	13	22	10	4	4								71	学童クラブメンバーそれぞれの進級を祝う。
(3) 児童館祭り(親子でお店)	1														5	児童館祭りで、親子出店のお店。
(3) 保護者会会議	10														55	年間予定立案とレク担当の調整。発行文書の印刷。
(3) 保護者懇談会、新規登録説明会	4														42	新規登録児童保護者への説明会。懇談会は子どもの様子や今後のお知らせについて話をした。
(3) 保護者、児童、学校懇談、関係機関(課題ケース)	24														57	個別課題について解決に向けて話し合う。小学校・関係機関との連携も含めて実施。
(3) 出身保育園との情報共有	3														6	登録児童の出身保育園等担任との懇談。3月には保護者の了解を得て新規登録児童についての情報共有。小学校とも情報共有。
(3) 個別児童家庭からの保護者相談	4														5	主として子どもの生活上の課題や友達関係についての相談。
(3) 統合育成個別面談	15														33	成長発達上の課題の見受けられる児童について、希望者についての保護者との個別面談を実施。
(3) 課題のある児童の個別振り返り	24				24										24	課題が発達成長にあるのか家庭の養育機能にあるのか定めていく児童についての個別支援。

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
 *注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること